

三田市文化ビジョン検討事項

- ⑥ 文化活動支援のあり方
 I 「する」を「支える」
 II 「みる」を「支える」
 III 「伝える」を「支える」

1 どのような支援が行われているか（現状）

市の取り組み（第4次総合計画(後期計画)「19生涯学習、歴史の継承と文化の創造」より）

- 地域の文化資源を活かす仕組みづくり
 - ・シニア層をはじめとする地域の人材や、歴史資料・文化財等を地域の文化資源として位置付け、その組織化と活用を推進するとともに、市民への紹介や情報提供の推進に努めます。
- 市民文化活動の多様化を踏まえた支援の仕組みづくり
 - ・総合文化センター「郷の音ホール」を拠点に、芸術文化に関する情報の収集・発信やアウトリーチ（出前）事業の充実を図るとともに、市庁舎ロビーコンサートなども活用しながら、市民が芸術文化に触れたり表現する機会を通じて、市民文化の活性化や後継者育成の支援に努めます。

(1) 市が行っている主な支援の内容 ※()内は令和2年度三田市予算 単位：万円

【「する」を「支える」】

- ◆団体への補助金 …… 三田市文化協会(50)、三田太鼓(35)、三田音頭会(10)、三田市吹奏楽団(100)、三田市民オーケストラ(55)、その他(80)
- ◆団体の事務局支援 …… 三田市吹奏楽団
- ◆イベントへの補助金 …… 郷の音市民コンサート実行委員会(162)
- ◆活動・発表の場の提供… 市民センター運営(15405.5)、まちづくり協働センターの運営(21544.1)、総合文化センターの運営(23730.5)、市庁舎コンサート(20)、ガラス工芸館の運営(2823.7)
- ◆芸術文化公演再開緊急支援事業助成金(コロナ対策)(600)(臨時)
- ◆その他の支援 …… 登録団体には使用料の減免措置あり(市民センター、まちづくり協働センター)

【「みる」を「支える」】

- ◆文化振興事業(4000)の実施 …… プロの優れた文化芸術に触れる機会の提供
 ※令和元年度まで文化振興基金で運用、基金が枯渇したことから令和2年度からは市一般会計から支出している
- ◆イベントの開催 …… 三田まつり(令和1年度：700)
- ◆情報発信 …… 市広報・ホームページ、SATO-NET(郷の音ホールの情報紙)

【「伝える」を「支える」】

- ◆指定文化財の保護・修復(20.3)
- ◆旧九鬼家住宅資料館・三田ふるさと学習館・三輪明神窯史跡園の運営(1702.4)

(2) 市民アンケート・団体アンケートの結果から（別紙参照）

＜市民アンケート＞

【問17】 この1年間で、文化芸術活動の支援として取り組まれたことはありますか。

1位 特に何もしていない 72.0% 368/511

【問26】 三田市の文化芸術の振興施策について、どのように感じていますか。

→選択肢のうち、「やや不満」「不満」の計

- 1位 文化芸術や伝統芸能の情報発信 14.5% 74/511
 2位 三田市内で活動する文化芸術団体の情報発信 14.1% 72/511

＜団体アンケート＞

【問12】 団体活動を続けていくうえで、どのような課題がありますか。

- 1位 活動人員の確保 70.1% 108/154

【問7】 あなたの団体のおもな財源を教えてください。

- 1位 会費収入 87.7% 135/154

2 どのような支援を行うか（未来の可能性）

(1) 何が必要か

「する」を支えるために

「みる」を支えるために

「伝える」を支えるために

(2) 要望に応えるには

「する」を支えるために

「みる」を支えるために

「伝える」を支えるために

(3) その具体化として

	三田市民	三田市	事業者
「する」を支えるために			
「みる」を支えるために			
「伝える」を支えるために			